

折尾駅新駅舎について

令和3年1月2日（土）、大正5年当時の姿を再現した折尾駅舎が開業します。



工事中の折尾駅舎（令和2年10月末時点）

新駅舎のデザインについて

新駅舎のデザインは、地域の方々の要望を受け、市とJR九州が連携して検討を進め、平成24年10月に公表した「折尾駅舎の保全・活用に向けた基本的な考え方」に沿って、整備しました。

- ・ 構造や部材等の調査を行い、歴史資料とともに記録を整理・保存する。
- ・ 大正5年当時の駅舎の外観については、可能な限り再現する。
- ・ 駅舎のシンボリックな部材については、保存・復元を基本とする。

・ 旧駅舎外観の再現

解体時の調査結果を基に、周辺の景観を考慮しつつ、大正5年当時の姿を再現しました。



▲大正5年当時の姿（昭和9年頃写真）



▲解体前の駅舎



▲平成24年公表イメージ図

・ 駅舎のシンボリックな部材

折尾駅舎を象徴するシンボル部材を一部補修し、復元を行っています。解体時に既に撤去等していた大正当時の部材についてはレプリカを作成し、再現しています。



▲棟飾り



▲円形ベンチ、化粧柱

(令和2年8月まで折尾出張所に展示)

(参考1) 内観について

駅前広場と改札を繋ぐ駅舎の内観は旧折尾駅舎の待合室をイメージしました。



▲旧駅舎の待合室



▲新駅舎の待合室 (イメージ)

(参考2) 立体交差の歴史の伝承

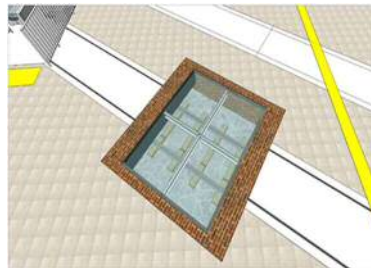
日本初の立体交差が折尾にあったことを後世に伝えるために、

- ・実際に筑豊本線で使用していたレールと枕木の展示
- ・事業着手前の立体交差があった時代の航空写真
- ・立体交差が分かるレール跡の明示

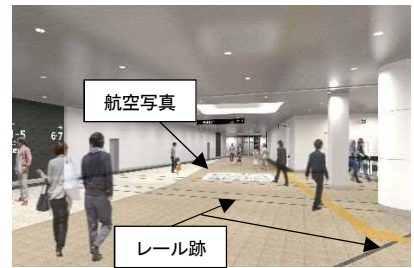
を設置します。



▲日本初の立体交差



▲レールと枕木の展示 (イメージ)



▲新折尾駅構内 (イメージ)

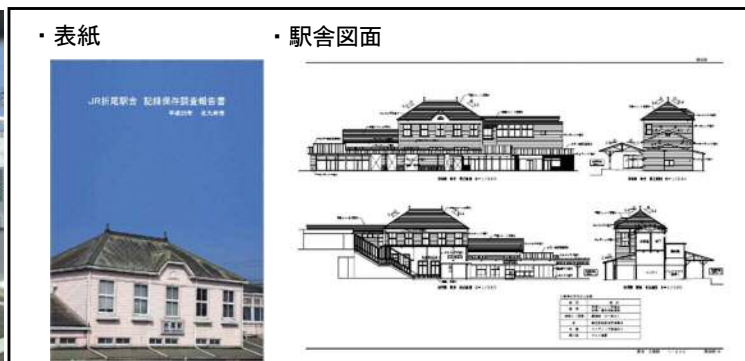
(参考3) JR折尾駅舎記録保存調査

JR 折尾駅舎の歴史や姿を後世に伝えるとともに、新折尾駅舎へのシンボリックな部材の活用や歴史的な外観の再現に活かすため、記録保存調査を実施し、報告書を作成しました。

調査報告書は図書館などで閲覧でき、調査結果の概要などは市のホームページで閲覧できます。



▲専門家による調査の様子



▲報告書 (一部抜粋)